

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人	0人	0人	11人

前回の改善計画
初回利用の1ヶ月程度は、送迎時に利用者の様子を連絡帳に別途記載するか家族に口頭でその日の様子を詳しく伝え、関係を築いていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
送迎時にはその日の様子を伝え、新しい利用者にかかわった職員は、連続した様子の記録を残せるようになった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12	2	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	4	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	12	2	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	11	3	0	0	14

できている点
担当者から、利用者の情報提供を受け、プランに基づいた支援を共有し実行できている。
新しい利用者が慣れるまでは、意識的にコミュニケーションをとるように心掛け、緊張を和らげようとしていたり、連絡帳だけでは伝えきれない細かい様子などを、送迎時に直接ご家族に伝えようと皆が努力している。

できていない点
緊急のご利用や退院に合わせた利用開始などで、サービスの開始までに期間がない時などがある。その際は、現状の把握がやっとなニーズやサービス開始前の内容の把握、家庭の事情など把握することは難しい。介護家族の心境や、不安を受け止めることなども難しく感じている職員がいた。

次回までの具体的な改善計画
送迎時のコミュニケーションを積極的に行っていくことは継続する。
サービス開始時に知りえなかった情報や思いなどを、信頼関係を築きながらなるべく早い段階で得られるように、関わりを密にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年 9月 20日 (17:00~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	0人	11人

前回の改善計画
利用者懇談会の結果を広報誌に載せ、ご家族にも報告する。スタッフミーティングにてご利用者の情報共有を行っているが、ケアプランの短期目標の達成についても毎回尋ねるようにし、目標について認識を高めていく。本人の「～したい」を共有するため聞き書き止めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
それぞれの職員が知りえた情報や習慣、注意点等の特記事項を書き出して共有できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	7	3	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	5	3	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	9	3	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6	5	3	0	14

できている点
利用者主体の懇談会を行い、利用者の要望を聞き、食べたい物や行きたい場所などしたいことを聞き利用者の意向を確認。それを行事や献立に活かすようにしている。利用者の「～したい」ことは個別のリハビリやレクリエーションにも取り入れ、意識した取り組みを心がけている。

できていない点
新規の方のケアプランは必ず見る習慣はできたが、既存の方のケアプランを見返すという時間を作ることが難しく、短期目標の振り返りが毎回必ずできなかつたり、本人のゴールがわかっていない (本人から聞けていない) ことができていないと感じている職員が多い。 各利用者のQOLの向上を意識して取り組んでいないこともあり、過剰介護になっている場面も時々ある。

次回までの具体的な改善計画
利用者懇談会の結果を広報誌に載せ、ご家族にも報告する。 利用者の「～したい」について、聞き出せたときに、すぐに書きとめケアプランにも反映できるようにケアマネとの連携強化をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年 9月 20日 (17:00~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	1人	0人	11人

前回の改善計画
朝の時間を活用して、ご利用者と個々に関われる時間を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
朝のレクレーションの時間を作りかわりを持つようにした。朝の会での利用者とのコミュニケーションや体操の合間の休憩に、季節の話や利用者との対話で情報を得ることができるよう、職員それぞれが、工夫して取り組んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	9	3	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	3	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	9	5	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11	3	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	3	0	0	14

できている点
毎朝の始業前のミーティングや毎月の業務ミーティングでは、本人の状況確認、各職員が利用者について発言をし情報共有を行えている。また、個別に行っているリハビリや個浴、送迎時などに時間をかけてかわりをもつよう、忙しい中でも時間をうまく使いながら、利用者とのかわりを持つよう支援ができています。
また日々の関わりの中で少しずつ知る喜びも職員間で共有できている。

できていない点
以前の暮らしについては10項目もあげられない理由として、勤務形態が曜日固定のため関りが少ない利用者があることや、相談から利用までが短い事があるため、介護が必要になる前の事を知る事が難しかったり、口数の少ない利用者や話すことが難しい利用者などは情報収集に時間がかかる。生活環境についても把握が不十分であると感じている。

次回までの具体的な改善計画
利用者の午睡や休憩時間である 13:00~14:00 の時間を有効活用し全スタッフが、担当利用者について10個ずつ情報を聞き出してみる。または1人ずつで持ち寄って情報を合わせる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	3 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	ご利用者が住む地域の担当の民生委員と顔見知りになり、関係が途切れないように支援する。また、ご利用者が地域の敬老会に参加できるよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	けやき台のふれあい喫茶に、定期的に継続して参加させていただけるようになった。そこで担当の民生委員さんとの交流や情報交換ができている。けやき台に住む利用者と敬老会へ参加することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	8	1	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	6	2	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	8	2	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	9	2	0	14

できている点	利用者の住んでいる地域での催しものや、趣味が活用できる場、ボランティアの情報など常に情報収集、家族との情報の共有が良くできている。 また、職員も自分の住んでいる地域の情報を高齢者目線で見えるようになり、利用者の住んでいる地域の催しにも関心をもつことができるようになった。
--------	--

できていない点	全ての利用者の把握は難しく特に問題がない方の生活スタイルは、把握しにくいと感じている職員が多い。話し合いがないと「地域の資源」などがわからなかったが今回がきっかけとなり、地域資源の内容の共有がこの話し合いでできた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
家族の支援が少ない場合や地域で、孤立していると思われる利用者の民生委員と顔見知りになり、関係が途切れないように支援する。 送迎時や地域での買物付き添い時に、近隣住民の方との挨拶を交わし、積極的にコミュニケーションをとっていくようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	2人	0人	0人	10人

前回の改善計画	社会資源について再認識し、もっと地域資源を使った支援ができるように、見守りをしてくれる近所の人や友人、地域のサロンにも参加できるよう探っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会話から情報収集するようこころがけたり、お住まいの地域の催しには積極的に参加できるよう支援した。けやき台のサロンへ行くことが楽しみになった利用者がおられる。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	11	3	0	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	1	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	11	3	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	4	0	0	14

できている点	地域の資源として、回想法ボランティアさんや季節の折り紙を教えて下さるボランティア、ギター演奏のボランティアさんなどに協力頂いている。 支援については、ご利用者の状況、様子に応じて臨機応変に対応している。ご利用者の小さな変化も逃さないように、日々の出来事やご利用者の変化など、職員間で共有し朝の朝礼と月に1回のスタッフミーティングでは、変化や対応を再確認している。 また、介護をしている家族の状況や変化にも気を付けるようにし、特に高齢世帯の介護者については、ご利用者と同時に見守りや、ご利用者の生活全体を把握するようにしている。
--------	---

できていない点	地域のサロンに毎月参加していることは職員全員が把握しているが、職員自身が地域のサロンに参加したことがなかったり、社会資源にどんなものがあるか把握できていないなど職員間で、認知差がある。 社会資源ファイルを継続して活用できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	社会資源について再認識し、利用者への必要な支援を提案できるよう社会資源ファイルを継続して使用していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	1人	1人	0人	11人

前回の改善計画	介護スタッフも地域の会議に出席したり、ご利用者の福祉用具担当者との意見交換や状況報告、地域の方との交流や自治会の活動（クリーンデー、作品展、ふれあい喫茶）など、交代で参加していく
前回の改善計画に対する取組み結果	職員が交代で、サービス担当者会議に出席をして普段の様子や提案などの意見をしたり、福祉用具の担当者との情報交換など積極的に行えた。また、クリーンデー、作品展、ふれあい喫茶などは参加することが習慣となり、職員も自主的に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	6	2	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	5	2	1	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	10	2	2	0	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	13	0	1	0	14

できている点	地域の幼稚園児との合同行事は、お互い自然な流れで年二回行っている。地域住民の方が折り紙や、見守り、老人会の婦人部の方々がウエスを作って定期的に寄付して下さったりと、様々な形で交流できている。
---------------	---

できていない点	勤務形態や勤務時間の都合上、参加できない職員がいるため、参加の有り無しについては偏りがある。
----------------	--

次回までの具体的な改善計画	利用者の他のサービス利用状況一覧表を作成し活用することで職員全員が、その把握に努め必要時連携することができる。
----------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

7. 運営

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	3 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用者懇談会の結果報告を広報誌にのせ、ご家族や地域の方へ伝えるようにする。1 年間の取り組みの映画会と貸し出し DVD は継続し、定着させる。運営推進会議のご家族代表の参加予定を年間で立て置き、当日参加できなかった方からも意見が聞けるように、書面でのご意見収集など行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議へ年間通して出席していただけるご家族代表の方が、出席して下さっている。2 ヶ月に 1 度の書面での意見の収集は続かず、年に一回の顧客満足アンケートでは、細かい意見を聞くことができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	7	6	1	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	2	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	2	2	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	6	6	2	0	14

できている点	ご利用者主体の懇談会を定期的を開催し、ご利用者の想いや意見を聞いて同時に職員も意見を述べている。それを行事や献立に活かし、運営に反映している。地域やボランティアより意見をもらったり、行事やレクリエーションで共に活動した時の何気ない声を拾うように心がけている。ご家族からの苦情や意見などは、真摯に受け止め職員間で共有し、早急に対応している。
--------	---

できていない点	入職日が浅い職員は、運営に関してあまり詳細を認識できていないことがわかった。同時に利用者家族についても共通していると思われるため、利用の浅い利用者・家族へ対しても同様に、運営内容について周知していく必要があると思われる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	現在発行している広報誌を利用者・家族配布用と、地域配布用に分けて作成する。利用者・家族配布用には、利用者懇談会の内容や、運営に関することなどをのせ発信していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	3 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画
リスクマネジメントとして、議事録や不適合報告書 (事故報告書) を読み押印する。
前回の改善計画に対する取組み結果
伝達研修や事故報告などの書類は全員が確認するよう習慣づいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	12	2	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	3	1	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	4	7	0	2	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	6	0	0	14

できている点
年間の学習目標と内容を決め毎月、必須研修や職員が学びたいことを取り上げ、皆で学んでいる。また、外部研修に出席した職員から伝達研修として、他の職員と共有し事業所に生かすようにしている。事故の再発防止として、対策評価を1ヶ月毎に確認しあっている。

できていない点
ヒヤリハットを口頭のみで文章に残せていない職員と、残せている職員に分かれていた。

次回までの具体的な改善計画
全ての職員がそれぞれの視点で、ヒヤリハットを出し事故の防止につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年 9月 20日 (17:00~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 橋本・望月・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本・佐道・和泉・中村・日比

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	0人	0人

前回の改善計画 権利擁護の研修実施し、成年後見人制度を理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	0	0	13
③	プライバシーが守られている	10	3	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	2	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	3	0	0	13

できている点
研修や勉強会を繰り返し行い、拘束をしないよう工夫しながら業務している

できていない点
プライバシーの配慮という点で、フロアからトイレが隣接しており中が見えてしまうというハード面で難しい点がある。介護者の工夫や声かけで、対応している現状ではあるが、完璧ではない。

次回までの具体的な改善計画
トイレを使用する利用者の見守りをしっかりと行ない、プライバシーの配慮を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	利用者の第二の我が家となるように、家庭的な雰囲気や居心地よく安らぎの場を提供することを心がけている。眺めの良い明るい開放的な立地にあり、幼稚園や小学校と隣接している為、登下校の見守り活動や行事を通して地域との関わりを大切にしている。利用者のリクエストや季節に合わせた手作りの料理を提供している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 けやきの郷	管理者	橋本 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	次年度の研修に障がいの特性や疾患の理解が深まる内容を取りいれる。職員ひとりひとりが、リスクマネジメントに取り組めるようにヒヤリハットが書きやすい環境を整える。	毎月の勉強会は、身近な利用者の疾患に関して深く学ぶ内容を盛り込んだ。また、リスクマネジメントとして、ヒヤリハットを書きやすいよう環境を整え、多くの内容を残すことができた。	毎月の勉強会や地域で行っている研修に参加していることがわかった。けやき台のコミュニティハウスで行う研修会へも参加している姿を見る。	日々更新される申送り事項や必要な情報を、職員全員が正確に把握し、適切にサービス提供が行えるようにする。そのために、申送り回覧等に全員の確認チェック欄を設け伝達チェックを行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者と一緒に地域ふれあい喫茶や地域行事へ参加し、広報誌を通して情報を発信してゆく。	けやき台のふれあい喫茶に、利用者と一緒に定期的に参加する事ができ、地域の方や民生委員さんとの交流ができています。広報誌はコミュニティハウス玄関に設置させてもらい自由に手に取ってもらえています。	運営推進会議や園芸の活動などで、事業所に出向いたときに利用者の方が出迎えてくれたり、利用している人の様子を見ると快適に過ごされていることがわかる。	清潔で明るく開放的な事業所になるように、館内の清掃や屋外の景観を損ねないように管理していく。
C. 事業所と地域のかかわり	相談については随時受け、介護相談会を月1回開催する。開催日は広報誌での案内やのぼりなどを使い地域の人に発信していく。	広報にも介護相談受け付けている旨を載せて告知した。相談については随時受け付けており、電話での相談や来訪される方もおられた。	相談日を設定しても来訪が少ないかもしれないが、定期的に行っているということが大切。 広報を地域用と利用者用に分けて発行していくのも良いのでは。	地域活動のお手伝いなどで参加する事により、地域とのかかわりを深めていき、相談しやすい関係を作っていく。 広報誌を家族配布用と地域配布用に分けて作成する。家族配布用には、利用者懇談会の内容や、運営に関する内容を掲載することで、より細かな事業所の様子を発信していく。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>けやき台のふれあいサロンや喫茶に利用者と参加する。利用者にも居住地域の行事の内容を案内する。地域担当による情報収集を継続し、更なる発信活動を進める。</p>	<p>ふれあい喫茶や作品展などに参加できている。全ての地域の行事の把握や参加は難しく、事業所の地域での行事参加が多かったが、隣接する地区は参加ができた。 すずかけ台とけやき台の担当者による活動は続いているが、それ以外の地域はできていない。</p>	<p>他の全ての地域の行事に参加することは難しいが、まずは事業所のあるけやき台地域との交流ができれば充分なのではないか。関わりを持とうとしてくれていることは良いと思う。</p>	<p>地域のふれあいサロンや作品展など地域の行事に、継続して参加する。 又、広報誌に利用者の住む地域行事参加のお手伝いをさせていただく旨の内容を掲載する。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>運営推進会議に継続して出席して下さるよう家族に参加を依頼し、1年を通して事業所をみていただく。</p>	<p>利用者家族代表として、継続して会議に出席して頂けた。他の家族にも広報を通じて、会議の日程をお知らせしている。</p>	<p>運営推進会議に出ていなければ得られない内容を地域で共有することができている。</p>	<p>運営推進会議で、地域の情報を共有していき、かつ事業所で新しい取り組みをはじめようとする時は、会議の場で報告する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練に参加する。次年度は、地域の方が事業所の防災訓練に参加できるように声掛けする。</p>	<p>1月という寒い時期で利用者との訓練参加が難しくできなかったが、地域の防災訓練時に安否確認シートを表に出し、訓練に参加した。 事業所の訓練に、地域の方の参加呼びかけができなかった。</p>	<p>備蓄や災害マップを事務所内にはっていることは口頭で聞いている 敷地内倉庫に、おむつ類の備蓄を多めにしている事や避難時に、車いす用のトイレを借りることが出来るのではないかと。</p>	<p>地域の防災訓練に、まずはスタッフが参加することで、災害時の避難方法を習得する。</p>